

YAMATO Leaf archive



葉画家 群馬直美の「葉っぱアーカイブ」vol.12 2021年11月

《葉画家・群馬直美がこれまでに描いた絵とエッセイをお楽しみください》

絵と文 群馬直美

オシベ色のイモ虫くん

「葉っぱの画家さんだけど、花の絵を描いているところが撮りたい」

と映像監督の伊丹さん。

「だったら、サザンカを描きたい」

と私。江戸時代に編まれた

『花彙』や『シーボルト 日本植物誌』に、載ってるような

花びら五枚のシンプルなサザンカの花を、

じつは前々から描きたい、と思っていたのだった。

できれば、花の色は白がいい。

夏に、実と葉っぱを戴いた鈴木さん家のサザンカの垣根を訪ねると、

なんと白い花が咲いていた。

興奮しきりでモデルの花選びをすると、

五枚に見えた花びらの数は、六枚だったり八枚だったり。

花色も、微妙に先っぽが薄桃色だったり……。

本に載ってるようなのとは、巡り会えない。

結局、私が選んだのは、花びらが虫に食われたこの花。

シャープペンシルで下書きした絵を、撮影隊が帰った後に一人手直ししていると、

オシベの中からひょっこり黄色いイモ虫くん。

私の視線に気づくと、

オシベになりきる、太っちゃイモ虫くんなのだった。

(『言の葉 葉っぱ暦』(けやき出版)掲載より)

表紙の絵 「サザンカの花」 鈴木功さんの垣根にて 2011年11月26日採集

紙(アルシュ極細)/テンペラ size:300mm×260mm

(2012年2月10日 完成) © Naomi Gumma

群馬直美 GUMMA NAOMI プロフィール

高崎市生まれ。1982年、東京造形大学絵画科卒業。在学中に新緑の美しさ、その生命力に深く癒された経験から、“葉っぱ”をテーマとする創作活動に入る。「葉っぱの精神—この世の中の一つ一つのものは全て同じ価値があり光り輝く存在である」に則り、1991年テンペラで克明に描く現在の作風に至る。著書に『言の葉 葉っぱ暦』群馬直美の木の葉と木の實の美術館』他。東京都立川市在住。https://www.wood.jp/konoha/

建設プロダクト  ヤマト

株式会社ヤマト 総務部広報室

2021年10月発行

〒371-0844 群馬県前橋市古市町118 TEL.027-290-1800(代) FAX.027-290-1896

ヤマトホームページ www.yamato-se.co.jp